

# 茜雲

阿南町立阿南第一中学校 学校だより  
令和2年度8・9月号

令和2年9月17日(木)  
担当：小野澤健(教頭)

2学期がスタートして一ヶ月が経ちました。少しずつ秋めいてきましたが、まだまだ暑い日もあり、体調管理など難しい時期ですが、みんな元気に学校生活を送ってくれていることがなによりです。

この学期は、内なる充実を目指し、それぞれの学年が自分たちの活動を発展させ、引継ぎや次のステージへ進むための準備をする時期です。日々の授業や盛りだくさんの行事、生徒会活動(茜祭に向けて)、部活動新人戦など、先の見通しをもちながら精一杯取り組んでいきましょう。

## 1年自然体験学習

期日等、大幅な変更がありましたが、1学年の行事「自然体験学習」(阿南少年自然の家)が、8/28(金)無事に行われました。当初は一泊の予定でしたが、日帰りでウォークラリー、クラフト体験(竹とんぼ作り)、野外炊飯、キャンプファイヤーを行って、阿南の自然を思いっきり満喫して帰ってきました。1年生の総合的な学習のテーマは『阿南を知る』です。自分たちの住む阿南町を知ることから始め、2、3年生でのふるさとタイムの学習につなげていきましょう。



## 新人戦に向けて

夏休み前の下伊那代替大会で3年生が引退し、運動部は1、2年生の新体制で新人戦に向けて頑張っています。3年生から引き継いだものを大事にして、自分たちのチームを作っていきましょう。来年の夏につながるように、それぞれの新人戦の目標に向かって頑張れ!



## 教育課程研究協議会

本来ならば、下伊那の中学校で授業公開が行われ、授業研究会を通して授業づくりについて考える研修会ですが、今年度は新型コロナウイルスの影響から、各学校で研修会が行われました。

内容は、来年度から完全実施される新学習指導要領で目指す資質・能力(知識及び技能・思考力・判断力・表現力等)の育成に向けた授業改善、学習評価の改善について学び合いました。改訂の内容等、今後、生徒や保護者、地域の皆様にもご理解いただけるようにお示しさせていただきますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



今日は、「学校で学ぶ意味は何だろう」ということについて考えてみたいと思います。コロナ禍で休校になったとき、学習動画もたくさんつくられました。学校に来なくても学ぶ方法はあると思います。じゃあ学校で学ぶことにはどんな意味があるのでしょうか。

はじめに、「Society5.0 近い未来はこうなるのでは」という動画を見てもらいます。

この動画にあったような未来はすぐそこまで来ているような感じがします。そこまでいなくても、我が家のお風呂は、スイッチを押したら自動で設定した温度とお湯の量に沸かすことができます。考えなくてもできるのでもとても便利です。

私が幼かったころのお風呂は、こんな感じのお風呂でした。五右衛門風呂と言って、底が鉄なので湯船に入るときは木の板に乗りながら沈みます。まず水をためるときに「何分たったらたまかな」と考えなくてははいけません。ときどき水があふれてしまうこともありました。お風呂を焚くときも失敗がありました。お湯の表面が温かくなっていたから入ると下の方が冷たくて飛び上がってしまうこともありました。

「水をためる」ということと「お湯を沸かす」ということは、それぞれ小学校の算数や数学・理科などで学習する内容と深くつながっています。学校で学んだことを日常生活に活かす場面もたくさんあるのですが、生活が便利になってくると、学んだことと日常生活とのつながりも気づきにくくなってしまっているので意識してつながりを考えてみることも大切だと思います。

さて、来年度から中学校では「学習指導要領」といって日本の中学校で学ぶ内容を定めたものが新しく変わります。大切にする学力は3つ。1つ目は「知識・技能」これまでも大切にされてきた学力です。身についたかどうかはテストで評価することができます。2つ目は「思考力・判断力・表現力」などで学んだことや生活経験をもとに考えたり判断したり表現したりする力です。これは授業中の発言の内容や考え方を書くレポートやノートの内容で評価できます。そして3つ目が「学びに向かう力・人間性」などです。友だちと関わりながら問題を解決したり自分の生活に活かそうとしたりする態度で評価します。テストだけでは評価できないバランスのとれた学力をめざすことが求められているということになります。

社会に出てからも、学校で学んだことを活かせるようにするためには、自分の中に「なんでだろう」「結果はどうなるんだろう」といった「自分の問い」をもつことが大切です。そして、学んだことをつなげて考えたり比較して考えたりする「見方や考え方」を見つけることが大切です。そして「もしも」の時にどうしたらいいか考える力へとつなげていきます。先ほどのお風呂を例に挙げれば、スイッチ一つでお風呂が沸くけど、時には自動ではなくて自分でお湯をためてみるとか、停電したらどうしたらいいか家族と話し合ってみるといようなことができそうです。

2014年にオックスフォード大学のオズボーンという人が「10年後になくなりそうな職業」を発表して話題になりました。

それによると、なくなる可能性が高い職業は、AI人工知能などを使って人の代わりができそうな職業です。でも、その職業に人の手が必要な意味もあると思うのです。レストランの店員が心を込めたおもてなしをしてくれたら、ロボットよりうれしいですね。また、なくならずに残りそうな職業は、人と人との関わり、特に心のつながりが大切な職業だったり、とっさの判断が必要だったりする職業が多いのではないかと感じます。

これから求められていく学力は、「これからの社会がいかに変化し予測困難な状況になっても、学んだことを活かして自ら考え他者と協働しながら課題を解決し切り拓いていける力」とされています。まさしく、今のコロナ禍でもこのような力が大切だと思います。だとすれば、学校はみなさんが社会に出て行く前に、失敗したり迷ったりして学ぶところであり、世の中にはいろんな人がいるということを理解するところであると言えると思います。

これは、学習動画を見ていただけでは身につかない、ひとりでは学べないこと、人工知能ではできないことです。みんな「あーだ」「こーだ」言い合いながら学ぶそのプロセスが、新しい問いを解決する挑戦のエネルギーになるのだと思います。今、茜祭の準備をしている中でも経験できているのではないのでしょうか。

このような力を身につけるためにも、普段の授業では、自分の問いを大切に、自分なりの考えを持つこと、そして友だちの考えと比べながら考え、学びのプロセスをふり返る経験を積み重ねてほしいと思います。

みなさんも学校で学ぶ意味を考えて自分なりの答えを見つけてみてください。

#### <今後の主な予定>

10月 1日(木)～30日(土) 人権教育月間 2日(金) 茜祭準備 3日(土) 茜祭 5日(月) 計画休業  
 11日(日) 英語検定 15日(木) 3年第6回テスト、1・2年中間テスト  
 19日(月) 地域清掃、シェイクアウト訓練(～23日)  
 23日(金) 小中連絡会 26日(月) お茶会 29日(木) 強歩大会



- ・PTA作業への参加ありがとうございました。新型コロナや長引く梅雨の影響で予定していた1、2年生の作業が出来ず、今回全学年で行いました。休日のご多用の中、たくさんのお家の方に参加していただき、校舎周りが見違えるようにきれいになりました。本当にありがとうございました。
- ・先日お配りしましたとおり、今年度の茜祭は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般への公開を控え、規模も縮小して行います。保護者の皆様には、生徒の授業や活動等でごんばっている成果をぜひご覧いただきたいところですが、体育館への入場制限や感染防止対策へのご協力をお願いすることになり、ご迷惑をおかけして申し訳ありません。いつも通りの茜祭ができずに、生徒達もいろいろと試行錯誤しながら、それでも今年にしかできない茜祭を創り上げようと、3年生、生徒会を中心にがんばっています。観ていただける時間は少ないですが、そんな生徒達の頑張りをどうぞ楽しみにしていただき、また励ましのお言葉をいただけると幸いです。よろしく願いいたします。